
日本初の女性のプロ野球選手

高須

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日本初の女性のプロ野球選手

【Nコード】

N5316E

【作者名】

高須

【あらすじ】

一人の架空の女性野球選手から日本の野球界についてどうすべきかを書いています。

プロローグ（中学から高校入学）（前書き）

この話は私が作った話であり、未来にこうなるかは保証できません

ブローグ（中学から高校入学）

時は2030年に高校野球の規則が変わった。

それは国民から男女差別といわれていた女性選手の公式戦出場禁止の規定が

なくなった。

それを時の総理大臣川上を高野連に文句をつけたからである。

そこで、高野連は条件つきながら認めた。

その条件とは、中学のチームで主要選手である事と

チームが県大会に出場できるレベル以上であることの2つである。

確かにその条件はクリアはとも難しいのではないか？と意見が大半であった。

でもその条件をクリアした選手が現れた。

それは、海南市の海南中央中学校の大崎智美がなんと……………

全国優勝したチームで4番でエースであった。

彼女を獲得したいチームはいくらでもあった。

彼女は古豪チームからもそして新興チームからも誘いがあった。

そして地元の海南高校からももちろん誘いがあった。

その海南高校の田崎監督は

「君の力が今のチームにはとても必要なんだ」

「昔みたいにチームを強くして欲しいだ」

と言った。

彼女は監督の熱意に押され、進学を決めた。

そう監督は全国で優勝経験もある海南高校の優勝メンバーであった。

だが、チームはそれ以来1回戦や2回戦で負けているチームである！

彼女は、強豪チームからも新興チームからの誘いもすべて断り地元の弱小チームに進学した。

彼女は強豪で争うよりも名監督の下でチームを日本一にすることにした。

弱小チームを強くすることに魅力を感じたのである。
そして田崎監督と一緒に野球がしたいと彼女は思った

そして波乱の高校が始まった。

彼女が高校に入学してまず、びっくりしたことはこの学校の野球部は塾など練習時間が取れない点と部員が。

彼女は最初に練習の日に監督に紹介された。

みんなも知っていると思うが、

全国優勝チームで4番でエースだった大崎智美です。

彼女も尾道智美です。皆さんと野球ができることがうれしく思います。

色々教えてくださいね。

キャプテンの小窪彰浩です。

このチームに部員をまず集めようそして甲子園を目指そう。

第2話へ

高校のスタート

彼女は部員が足りないという話が足りないという話聞いていなかった。

しかし彼女が公式戦で試合をやるためには、部員をまず集めなくてはならないという事実

であることを彼女は認識しました。でも昔は部員が15人ぐらいいただけで3年生が中心だったので。

そして、キャプテンに今部員は何人でしょうかと聞きました。

今部員は貴方を入れて8人です。

彼女は夢をかなえるためには何が大事かを理解した。

彼女は今足りない1人分の部員を探すために彼女は同じクラスの女の子で県大会に

出たことのある女の子に頼んでみた。

彼女は、中学時代に県大会に出たことのあるチームで試合によく出ている選手がおるっていう話を聞いたので、誘ってみたらはいってくれたのよかった。

その子は大島南中学出身の安田咲子です。

それでも、選手が9人しかないということには変わらないが、このやつとこの野球部が始動することができる。

まず、一年生の部員から紹介をしてとキャプテンが言いました。まずは私から安田咲子です。

中学の時は投手兼捕手兼二塁手を守っていました。よろしく願います。

では次は私か。

大崎智子です。

中学の時は投手兼遊撃手兼捕手していました。

よろしく願いします。

一年生の部員も紹介も終わったことですし次は私たちを紹介しますとキャプテンはいいました。まず、うち部員の先輩は2年生だけなので。

センター兼ライトの佐々岡

ライト兼センターの横山

レフト兼サードの安部

サード兼投手の嶋

早々もう一人女の子が、内野手全般のできる尾形です。

捕手兼二塁手で副キャプテンの赤松

投手兼外野手兼一塁手でキャプテンの野村

ではこれから彼女の高校野球の生活が始まった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5316e/>

日本初の女性のプロ野球選手

2010年12月26日02時40分発行